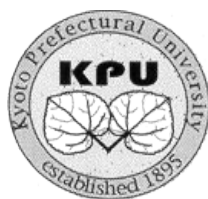


令和 8 年度

学校推薦型選抜学生募集要項

- 文 学 部
- 社 会 科 学 部
- 農 学 食 科 学 部
- 生命理工情報学部
- 環 境 科 学 部



京 都 府 立 大 学

<https://www.kpu.ac.jp/>

目 次

◎ 令和8年度京都府立大学学校推薦型選抜学生募集要項

アドミッション・ポリシー	1
1 募 集 人 員	11
2 日 程	12
3 出 願 資 格	12
4 選 抜 方 法	13
5 推 薦 条 件	14
6 身体等に障害のある入学志願者との事前相談について	15
7 出 願 手 続	15
8 大学入学共通テスト成績請求チケットの提出（栄養科学科出願者のみ）	18
9 試 験 会 場	19
10 試験日時及び試験科目	19
11 大学入学共通テスト（栄養科学科出願者のみ）	20
12 配 点	20
13 受験についての注意事項	21
14 その他学校推薦型選抜の注意事項	22
15 悪天候・災害時等の試験実施について	22
16 合 格 発 表	22
17 入 学 手 続	22
18 試験成績の開示について	23
19 個人情報の取扱い	23
20 受験生氏名の表記について	23
試験場案内	24

◎ 添付書類

- 推薦書
- 志望理由書（理工情報学科を除く志願者用）
- テーマ作文用紙（理工情報学科および森林科学科志願者用）

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

【文学部】

教育の理念・目標

文学部は、人間の文化的・社会的営為に関する人類の叡智を継承し、ことばと文学、文化と交流、歴史と文化遺産にかかわる専門領域を深く教育・研究するとともに、その成果を広く社会に還元します。さらに現代社会・地域社会が提起する諸課題にこたえるために、知の拠点として、つねに新たな教育・研究領域を開拓することを目指し、次のような人材の育成を目標とします。

1. 人文学のたゆまぬ研究と教育を通じて、幅広い教養を備えるとともに、豊かな人間性と高度な専門性を身に付けた人材を育成します。
2. 幅広い教養と専門知識を融合させ、総合的な視野や多様な価値観を養うことにより、地域文化・地域課題をにない、また、国際化社会にも貢献しうる人材を育成します。

アドミッション・ポリシー

文学部では、次のような能力を身につけている学生を求め、入学者選抜の方針を定めます。

【入学前に身につけているべき知識および能力等】

- 1 高等学校等で修得する十分な基礎学力
- 2 日本語および外国語を通じた異文化理解
- 3 知識や経験を総合し、課題解決に導く思考力
- 4 日本および世界の文化・歴史に対する正確な知識
- 5 自己の見解を的確に示す表現力や論述力
- 6 学校内外での主体的な取り組みや他者との協働活動
- 7 志望分野に対する問題意識

【入学者選抜の方針】

文学部では、こうした能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストと個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜を実施します。

各選抜における審査の観点や判定方法等は、各学科がそれぞれ具体的に定めています。

【日本・中国文化学科】

日本・中国文化学科は、日本と中国の言語・文学・文化について探究することを目的として、日本語学・日本文学・京都文化学・和漢比較文学・中国文学について、相互の関連を踏まえながら専門的な教育・研究を行い、各分野について深い知識を持ち、かつ五分野を関連づけて思考することのできる人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

日本・中国文化学科では、日本や中国の言語や文学・文化に対して強い関心を持ち、同時に人間や社会に対して幅広く目を向け、自ら問題を発見し、解決しようとする意力を備え、また、文献の読解に取り組む粘り強さと、多角的な視点からものごとを見る柔軟さを持った学生を求めます。そのために必要な能力は以下のとおりです。

【入学前に身につけているべき知識および能力等】

- 1 高等学校等で修得する諸教科についての十分な基礎学力
- 2 異文化理解に資する外国語・日本語の運用能力
- 3 日本や中国、京都の文化を言語や文字などを通して考察できる能力
- 4 世界、特に日本・中国、さらには京都の文化・歴史に対する正確な知識
- 5 自らの問題意識を論理的・客観的に文章化して表現する能力
- 6 主体性を持って他者と協働する能力
- 7 日本語学・日本文学・京都文化学・和漢比較文学・中国文学に対する問題意識

【入学者選抜の方針】

日本・中国文化学科は、こうした能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストおよび個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜を実施します。

●一般選抜（前期日程）

上記1～4についての基本的な能力は大学入学共通テストにより、また、1～4の応用的な能力および5については、記述式問題を重視した3教科（国語、外国語、歴史）の個別学力検査によりバランスのとれた学力を考查します。

●一般選抜（後期日程）

上記1～4についての基本的な能力は大学入学共通テストにより、また、1～4の応用的な能力および5については記述式問題を重視した個別学力検査により、国語に関して秀でた学力を考查します。

●学校推薦型選抜

上記1～4についての基本的な能力および6・7については推薦書・調査書・志望理由書により確認するとともに、1～4の応用的な能力および5については小論文問題により考查し、入学者を選抜します。

〔国際文化交流学科〕

国際文化交流学科は、多文化共生の時代に必要な異文化理解を深めることを目的として、国際京都文化、外国語コミュニケーション、英語圏文化などの分野の教育研究を行い、高度な外国語運用能力・柔軟な思考力・問題発見能力・自己表現力を備えた、広い国際的視野を持った人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

国際文化交流学科では、広い視野と関心を持って、独自の視点から問題を探求し、客観的かつ多面的考察・分析を行い、その成果を論理的な言葉で表現できる人材を育成します。入学者選抜にあたってはこうした国際文化の研究方法に対する能力・適性を考查します。したがって本学科では、以下のとおりアドミッション・ポリシーを定めています。

【入学前に身につけているべき知識および能力等】

- 1 教養の基礎となる高等学校等で履修する基本的な知識と理解力
- 2 日本語と外国語の優れた言語能力
- 3 言葉の力や人類が培ってきた様々な思想を理解するための共感能力、柔軟な思考力と問題把握能力
- 4 過去から現代に至る欧米と日本の文化・社会に強い関心を持ち、言葉の仕組み、機能を理解し、思考する能力
- 5 自ら見出した問題を論理的に考え、自分の言葉で表現する能力
- 6 学内外での主体的な取り組みや他者との協働活動への意欲
- 7 国際文化交流に対する問題意識

【入学者選抜の方針】

国際文化交流学科は、こうした能力を考查し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストおよび個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜を実施します。

●一般選抜（前期日程）

上記1～4についての基本的な知識および理解を考查する大学入学共通テストと、1～4の応用力と5について個別学力検査により考查します。

●一般選抜（後期日程）

上記1～4についての基本的な知識および理解を考查する大学入学共通テストと、1～4の応用力および5については記述式問題を重視した個別学力検査により外国語に関して秀でた学力を考查します。

●学校推薦型選抜

上記1～4についての基本的な能力および6・7については推薦書・調査書・志望理由書により確認するとともに、1～4の応用力および5については小論文問題により考查し、総合的に入学者を選抜します。

〔歴史学科〕

歴史学科は、人間の文化的・社会的営為について歴史と文化遺産に関わる専門的領域を考究することを目的として、日本を中心として広く世界についてその社会と文化、思想の歴史的展開に関する教育研究を行い、人類の過去と現在、未来に対する洞察力、分析力をもつ人材、さらに歴史的遺産を理解しその継承に資する人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

歴史学科では歴史学に対する深く幅広い知見を備え、資史料を運用する能力、文化遺産を調査・保存・活用する能力を備えた人材を育成します。入学試験にあたっては、こうした歴史学の研究方法に対する能力・適性を考查し、入学者を選抜します。本学科では、そのために以下のとおりアドミッション・ポリシーを定めています。

【入学前に身につけているべき知識および能力等】

- 1 高等学校等で修得する諸教科、とりわけ国語、外国語、地理歴史についての十分な基礎学力
- 2 自国の文化及び異文化に対する十分な理解
- 3 歴史研究の基礎となる資料や文献の読解に必要な思考力・解釈力・想像力
- 4 日本および世界の歴史に対する正確な知識
- 5 自己の見解を的確に示す表現力や論述力
- 6 学校内外での主体的な取り組みや、他者と協働する協調性
- 7 歴史学に対する深い関心、文化遺産の調査・保存・活用に対する強い意欲

【入学選抜の方針】

歴史学科では、こうした能力を考查し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストおよび個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜を実施します。

●一般選抜（前期日程）

上記1～4についての基本的な能力は、大学入学共通テストにより、また、1～4の応用的な能力および5については、記述式問題を重視した3教科の個別学力試験により評価します。

●一般選抜（後期日程）

上記1～4についての基本的な能力は、大学入学共通テストにより、また、1～4の応用的な能力および5については、記述式問題を重視した個別学力試験により評価し、日本および世界の歴史に秀でた学生を選抜します。

●学校推薦型選抜

上記1～7についての基本的な能力は、推薦書・調査書・志望理由書によって確認するとともに、1～4の応用的な能力および5については、小論文などによって評価し、入学者を選抜します。

【社会科学部】

教育の理念・目標

社会科学部は、すべての人々が相互尊重にもとづいて生涯にわたる発達を保障される福祉社会の実現を目指し、社会の一員としての当事者意識（シティズンシップ）を涵養するとともに、社会科学の諸分野の知見を活用して公共の問題を発見・解決する能力をもって地域・社会に貢献できる人材および、地域の福祉と人びとの生涯発達に寄与する人材を育成します。

アドミッション・ポリシー

社会科学部では、次のような能力および問題意識を有する学生を求め、入学選抜の方針を定めます。

【入学前に身につけているべき知識および能力等】

- 1 高等学校等で修得する十分な基礎学力
- 2 人権と社会連帯の観点にもとづく社会問題・生活問題の理解と、その解決に対する関心
- 3 知識や経験を総合し、課題の解決へと導く柔軟な発想力と思考力
- 4 自己の見解を的確に示す表現力や論述力
- 5 志望分野に対する問題意識

【入学選抜の方針】

社会科学部では、こうした能力を考查し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストと個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜を実施します。

各試験における審査の観点や判定方法等は、各学科がそれぞれ具体的に定めています。

【公共政策学科】

公共政策学科は、法学、政治学・政策学、経済学をはじめとする社会科学の諸分野の知見に基づいて、

公共的問題を発見し解決するため、公共政策のあり方について教育研究を行います。専門性を身につけ、多角的かつ論理的に物事を考え行動し、地域・社会に貢献できる人材の養成を目指します。

アドミッション・ポリシー

公共政策学科では、以下のような学生を求めて、入学者を選抜します。

- ・ 多面的な様相を呈する社会、絶えず変化し続ける現実に関心を持ち、地域社会が直面する課題の解決に自ら貢献したいと考える人
- ・ 専門的・学際的な知見と定性的・定量的な根拠に基づいて、自らの考えを他者に対して、論理的かつ説得的・効果的に提案できる知識や技能の習得に意欲のある人
- ・ 自らとは異なる背景や立場、価値観をもつ他者の存在を尊重し、協調して行動できる人

【入学前に身につけているべき知識および能力等】

- 1 高等学校等で修得する諸教科（国語、地理歴史または公民、理科、数学、外国語）についての基礎学力
- 2 日本語および外国語の文章読解力および文章作成力
- 3 現代社会の制度・政策に対する関心・理解
- 4 国・社会・地域の発展のため、制度・政策の問題点を発見し、解決しようとする意欲
- 5 現代社会が求める幅広い思考力、柔軟な発想力および表現力
- 6 地域（社会）と積極的に関わり、修得した能力・知識を活用して地域（社会）に貢献するとともに、自己実現を目指す意欲

【入学者選抜の方針】

公共政策学科では、こうした能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストおよび個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜を実施します。

● 一般選抜（前期日程・後期日程）

▼大学入学共通テスト：高等学校等で履修する主要科目（国語、地理歴史または公民、理科、数学、外国語）について、文理の別なく、基本的な知識を有するかを考査します。

▼個別学力検査：前期日程では、英語と国語を課し、文章読解力、論理的な思考力および文章作成力を有するかを考査します。後期日程では、小論文を課し、文章読解力、論理的な思考力および文章作成力を基盤に、社会問題を解決するために必要な柔軟な発想力を有するか、また、自分の言葉で表現できる能力を有するかを判定します。

● 学校推薦型選抜

調査書および志望理由書により、地域貢献および自己実現に求められる主体性および積極性を評価し、小論文において、文章読解力、論理的な思考力および文章作成力を基盤に、社会問題を解決するために必要な柔軟な発想力を有するか、自分の言葉で表現できる能力を有するか、さらに、実証研究に必要なデータ分析能力を有するかを評価します。また、推薦書および志望理由書によって、学科の教育研究で必要となる問題への関心および主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を備えているかを評価します。

【福祉社会学科】

福祉社会学科は、社会福祉学・社会学・教育学・心理学の諸分野から福祉社会の創造を旨とした教育・研究を行い、科学的手法に基づいて、人びとの生涯発達と共生に寄与する能力を育成します。

アドミッション・ポリシー

福祉社会学科では、すべての人々の生活課題を解決するための調査・制度・政策・支援のあり方とともに、人間の成長・発達や行動・相互作用、そして教育のあり方についての科学的な理解を養います。入学試験においては、こうした教育研究に適した能力・適性を有するかを考査し、入学者を選抜します。

【入学前に身につけているべき知識および能力等】

- 1 高等学校等で修得する諸教科についての十分な基礎学力
- 2 人権と社会連帯の観点にもとづく社会問題・生活問題の理解と、その解決に対する関心
- 3 人間の発達、行動、教育と社会形成に対する課題の理解や、その解明に対する関心
- 4 社会福祉学・社会学・教育学・心理学について学ぶために必要となる論理的思考力および社会問題・生活問題について、自分自身の意見を持ち、それを整理して表現できる基礎的能力

【入学者選抜の方針】

福祉社会学科では、こうした能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストおよび個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜を実施します。

- 一般選抜（前期日程・後期日程）
 - ▼ 前期日程・後期日程ともに大学入学共通テストの5教科（国語、地歴・公民、数学、理科、外国語）の試験科目を通して、高等学校での基礎的諸教科の学力を十分に備えているかを判定します。
 - ▼ 人々の生活と社会構造・社会制度、人間の生涯発達・教育に関わる多様な問題を考え抜く論理的な思考力・判断力と、それらに対する自分の考えを表現する力を見るため、前期日程の個別学力試験では国語と英語を、後期日程の個別学力試験では小論文の試験を実施します。前期日程は基礎学力を重視するのに対して、後期日程では学科での学びに関連する多様な資料を理解した上で自分の考えを展開する論理的な思考力を重視します。
 - ▼ 調査書を通して、学科の教育研究領域への関心および多様な人々と協働して学ぶ態度を備えているかを確認します。
- 学校推薦型選抜
 - ▼ 高等学校における諸教科について優秀な成績を修めた受験生を対象として、推薦書・調査書・志望理由書、および小論文の試験を通して、学科の教育研究で必要となる社会問題・生活問題や人間の発達・教育への関心および主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を備えているかを判定します。
 - ▼ 小論文試験では、福祉社会の実現に関する諸問題を扱った文章や数量データを読み解き、自分自身の答えを論理的に導き出し、まとめあげる力を評価します。

【農学食科学部】

教育の理念・目標

農学食科学部は、「農学」や「食と健康」、「食文化」に関わる諸領域の学術を学際的、総合的に探究することを目的として、人間の生活や産業などの諸活動の向上を図るための自然科学や社会的・文化的な側面に関する普遍的な知識と技術を身につけられるようにします。

具体的には、

1. 生物機能の開発と高度利用、それらの社会的側面の検証
2. 食生活と栄養学に関する課題の解決
3. 日本の和食文化の継承・発展ならびにその魅力と真髄の発信

に関わるそれぞれの領域で、第一線で活躍できる人材育成を目標としています。

アドミッション・ポリシー

農学食科学部では、農学や食と健康、食文化に関して深い関心を持ち、それらが関係する領域の第一線で活躍する意欲にあふれる人を求めています。

【入学前に身につけているべき知識および能力等】

- 1 高等学校等における各種学習内容の幅広い理解
- 2 農学や食と健康、食文化に関する基礎学問である自然科学系と人文・社会科学系科目の論理的理解
- 3 論理的な思考力や柔軟な発想力
- 4 自分の考えを的確に述べることができる基本的なコミュニケーション能力

【入学者選抜の方針】

農学食科学部では、上記の能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストと個別学力検査を組み合わせた一般選抜、学校推薦型選抜を実施します。

各試験における審査の観点や判定方法等は、各学科がそれぞれ具体的に定めています。

〔農学生命科学科〕

農学生命科学科は、「ゲノムから生産・流通まで」の方針のもと、生物機能の開発とその高度利用技術、それらの社会経済的側面について教育・研究を行い、農業とそれに関連する諸産業の発展に広い視野をもって寄与できる人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

農学生命科学科では、本学科の方針である「ゲノムから生産・流通まで」にふさわしい学生を求めるため、以下のとおりアドミッション・ポリシーを定めています。

【入学前に身につけているべき知識および能力等】

- 1 高等学校等で修得する諸教科についての十分な基礎学力
- 2 生物・生命の諸性質や機能に対する興味ならびに未知の課題を探究する勇気と強い意思
- 3 生物・生命に関する知識を活用して未知の課題に論理的に取り組む能力
- 4 実社会の問題に取り組み、日本や世界の農業と食料の問題、それらに関連する技術、流通経済、諸産業などへの興味に基づき自律的に考え、学ぶ態度
- 5 先端の科学技術を習得し、農学生命科学の最先端の課題にチャレンジすることによって、人類の知と技術の地平を積極的に切り拓く意欲

【入学者選抜の方針】

農学生命科学科では、こうした能力を考查し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストおよび個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜を実施します。

● 一般選抜（前期日程）

高等学校等までに履修する全ての教科のうち、大学入学共通テストにより、国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語における基礎学力を評価する。併せて、英語と理科については個別学力検査を課し、正確な知識に基づき論理的に解答する能力を評価し、入学者を選抜します。

● 一般選抜（後期日程）

高等学校等までに履修する全ての教科のうち、大学入学共通テストにより、数学、理科、英語について、とくに高い基礎学力を有する入学者を選抜します。

● 学校推薦型選抜

高等学校等までの英語および理科系科目全般についての総合問題により、これらの基礎学力と思考力を評価します。加えて、科学や社会の様々な動向への興味や問題意識、それらを分析しようとする探究心と自分の考えを正確に他人に説明する能力について、推薦書・調査書・志望理由書、面接により入学者を選抜します。

〔栄養科学科〕

栄養科学科は、生活の質を向上させることを目的として、「食」と「健康」を取り巻く要因を総合的に捉え、望ましい食生活のあり方について教育研究を行い、栄養科学に関する高い見識を持ち、課題解決能力を持った、社会に貢献できる人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

栄養科学科では「食」と「健康」を取り巻く要因を総合的に捉え、栄養科学についての知識を学び、その知識を生かして社会に貢献したい学生を求めます。

【入学前に身につけているべき知識および能力等】

- 1 高等学校等で修得する諸教科についての十分な基礎学力
- 2 理科についての十分な学力
- 3 基本的なコミュニケーション能力
- 4 自分の考えを的確に伝えるための表現力
- 5 栄養科学に対する興味関心と、この分野を生涯にわたって学ぶ態度
- 6 課題を設定し解決するための知識探究の意欲
- 7 多様な状況下で、相手の立場や多様性を尊重できる協働性

【入学者選抜の方針】

栄養科学科では、こうした能力を考查し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストおよび個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜（調査書を含む）を実施します。

● 一般選抜（前期日程）

上記1～6について、大学入学共通テストと個別学力検査により評価し、入学者を選抜します。

● 学校推薦型選抜

上記1～7について、大学入学共通テストと推薦書、調査書、小論文および面接により評価し、入学者を選抜します。特に小論文では、課題に対する知識、理解力、英語力、分析力、論理的思考力等を、面接では、栄養科学科の学びの目的意識や意欲、およびコミュニケーション能力を評価します。

〔和食文化科学科〕

和食文化科学科は、日本社会の伝統的な食文化に内在する普遍的価値を探究することを目的として、生活文化としての食をサイエンスと人文・社会科学を横断する手法により読み解くとともに、食の現場

で起きていることを自らの手で学び取る技量を身につける教育研究を行い、日本における和食文化を継承・発展させ、和食が持つ魅力とその真髄を世界に向かって発信できる人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

和食文化科学科では、文系・理系の枠を越えて和食を多角的視点で世界に発信し、和食を取り巻く諸問題を改善・解決できる文理融合型人材の育成を目指します。そこで、和食の文化や科学に対して強い関心を持ち、自然や社会全般に対して幅広く目を向け自ら問題を発見する意欲をもち、他者と協同してその解決に取り組む粘り強さと柔軟さを持った学生を求めます。そのために必要な能力は以下のとおりです。

【入学前に身につけているべき知識および能力等】

- 1 高等学校等で修得する諸教科についての十分な基礎学力
- 2 食文化を理解するための文系諸科目や食を科学的な視点で捉えるための理系諸科目についての十分な基礎学力
- 3 和食文化や他の食文化への強い好奇心と、問題の発見とそれを解決するための柔軟な思考力
- 4 食に関わる自然環境と現代社会が抱える問題を理解するための幅広い知識と考察力
- 5 問題解決のために他者と協同する意欲、そのための日本語能力及び外国語の基礎的コミュニケーション能力

【入学者選抜の方針】

和食文化科学科では、こうした能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストおよび個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜を実施します。

● 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストを通して、高等学校等での基礎的諸教科の学力を十分に備えているかを判定するとともに、記述式問題を重視した個別学力検査により、和食文化を学ぶための幅広い知識と理解力を重点的に評価します。

● 学校推薦型選抜

推薦書・調査書・志望理由書によって高等学校等で修得する基礎的な学力を確認し、小論文によって和食文化への関心、問題発見能力、問題解決のための思考力などを評価します。

【生命理工情報学部】

教育の理念・目標

生命理工情報学部は、「生命化学」と「理工情報科学」に関わる諸領域の学術を学際的、総合的に考究することを目的として、人間の生活や産業などの諸活動の向上を図るための自然科学と情報科学の知識と技術を身につけられるようにします。

具体的には、

1. 生命分子機能の応用
2. 理工系科学技術と数理情報技術の向上

に関わるそれぞれの領域で、第一線で活躍できる人材育成を目標としています。

アドミッション・ポリシー

生命理工情報学部では、生命化学や理工情報科学に関して深い関心を持ち、それらが関係する領域の第一線で活躍する意欲にあふれる人を求めています。

【入学前に身につけているべき知識および能力等】

- 1 高等学校等における各種学習内容の幅広い理解
- 2 生命化学と理工情報学に関する基礎学問である自然科学系科目の論理的理解
- 3 論理的な思考力や柔軟な発想力
- 4 自分の考えを的確に述べることができる基本的なコミュニケーション能力

【入学者選抜の方針】

生命理工情報学部では、上記の能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストと個別学力検査を組み合わせた一般選抜、学校推薦型選抜を実施します。

各試験における審査の観点や判定方法等は、各学科がそれぞれ具体的に定めています。

〔生命化学科〕

生命化学科は、生命現象と生命環境を分子レベルで理解し、科学の進歩と社会の科学的課題の解決に貢献することを目的として、少数精鋭の実験を重視した体系的な生命化学の教育研究を行い、広い視野と論理的思考力を有し、専門知識と先端技術を展開して社会に貢献できる次のような人材の育成を目指します。

1. 「化学」を基盤として生命科学を学び、生命現象の解明、医薬品開発、機能性材料の創成、及びこれらの理論的理解などの社会の要請に応える人材を育てます。
2. 高い倫理観と使命感に裏付けられた問題発見・提起力とともに、着実な論理の積み重ねによる問題解決能力を身につけた社会を先導する人材を育てます。

アドミッション・ポリシー

生命化学科では、化学をはじめとする理科に強い興味があり、論理的で、自主性と想像力に富んだ人間性を高めたい人を求めます。また、入学後も一層の勉学意欲と向上心を持ち続け、厳しい学力評価に耐えうる心構えを持っていることが望まれます。

【入学前に身につけているべき知識および能力等】

- 1 高等学校等で修得する諸教科（国語、数学、情報、理科、英語、地理歴史・公民）についての十分な基礎学力
- 2 特に化学、物理、生物、数学に関する優れた能力
- 3 基礎課題に対して自らの表現方法で的確に解答できる基本的な読解力・思考力・表現力
- 4 グループ実験や研究活動を遂行するための論理的思考力・コミュニケーション能力・高い協調性
- 5 積極性とチャレンジ精神

【入学者選抜の方針】

生命化学科では、こうした能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストおよび個別学力検査（調査書を含む）を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜を実施します。

● 一般選抜（前期日程）

上記1については大学入学共通テストおよび調査書により、また、2、3については個別学力検査により評価し、入学者を選抜します。

● 一般選抜（後期日程）

上記1、2については大学入学共通テストおよび調査書により、理科および数学に秀でた入学者を選抜します。

● 学校推薦型選抜

上記1～3については総合問題により、上記1～5については、推薦書・調査書・志望理由書・面接により評価し、入学者を選抜します。

〔理工情報学科〕

理工情報学科は、情報科学の基礎知識を基盤として、数学、物理学、化学、生物学にわたる幅広い教育と研究を行うことで、広範囲の科学技術を持続可能な社会の発展に活かすことができる人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

理工情報系分野において世界に通用する専門家をめざすためには、理工情報系分野の学問に対する好奇心と探究心に加えて、論理的な思考力と的確な表現力が大切です。この目的のために、本学科では、理系科目の基本的な内容をしっかりと咀嚼して本質的な部分まで理解を深め、自らの言葉できちんと表現できる能力を身につけることを重要視しています。

【入学前に身につけているべき知識および能力等】

- 1 高等学校等における各種学習内容の深い理解
- 2 数学と理科学科目についての十分な学力
- 3 高等学校等を卒業までに培われてきた学力をもとに自分の考えを的確に記述するために必要な思考力・判断力・表現力
- 4 柔軟な発想に基づく思考力と豊かな創造性
- 5 先端科学技術を人々の生活の向上に活かそうという意欲

【入学者選抜の方針】

理工情報学科では、上記の能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストおよび個別

学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜を実施します。

● 一般選抜（前期日程）

上記1を判定するために、大学入学共通テストにおいては、国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語を課す一方で、上記2を判定するために、数学、理科を個別学力試験に課し、これらの科目の配点を高めに設定することで、記述式問題を重視します。

● 学校推薦型選抜

上記3については、推薦条件として、下記の条件を満たす必要があります。

「普通科の生徒については、数学Ⅲと理科科目 12 単位以上を修得している。」

「情報科学科の生徒については、数学は数学Ⅲ関連科目を修得し、理科は理科関連科目(本来の理科科目の他に情報関連科目などを含める)を 12 単位以上修得している。」

「工業科等の生徒については、数学は数学関連科目(本来の数学科目の他に、応用的な数学を主たる内容とした科目も含める)を 13 単位以上修得している。理科は理科関連科目(本来の理科科目の他に、応用的な理科を主たる内容とした科目も含める)を 12 単位以上修得している。」

加えて、上記1～5について、推薦書、調査書、テーマ作文、面接での総合判定を行います。

【環境科学部】

教育の理念・目標

環境科学部は、身近な生活空間から自然の生態系に至る「環境」に関わる諸領域の学術を学際的、総合的に考究することを目的として、人間の生活や産業などの諸活動と自然環境との共生を図るための知識と技術を身につけられるようにします。

具体的には、

- 1 人間生活と住環境の向上
- 2 自然環境への科学的理解に基づく森林の保全と利用

に関わるそれぞれの領域で、第一線で活躍できる人材育成を目標としています。

アドミSSION・ポリシー

環境科学部では、身近な生活空間から自然の生態系に至る「環境」に関して深い関心を持ち、それらが関係する領域の第一線で活躍する意欲に溢れる次の資質を持つ人を求めています。

【入学前に身につけているべき知識および能力等】

- 1 高等学校等における各種学習内容の幅広い理解
- 2 環境に関する基礎学問である自然科学系科目の論理的理解
- 3 論理的な思考力や柔軟な発想力と自分の考えを的確に述べる基本的なコミュニケーション能力

【入学者選抜の方針】

環境科学部では、こうした能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストと個別学力検査を組み合わせた一般選抜、学校推薦型選抜を実施します。

各試験における審査の観点や判定方法等は、各学科がそれぞれ具体的に定めています。

〔森林科学科〕

森林科学科は、地球環境に関する科学的理解と保全、森林資源の有効利用を目的として、森林とその生産資源に関係する事象に対して総合的な教育研究を行い、環境問題、資源問題への取り組みを通じて地域貢献、ひいては国際貢献できる人材を養成します。

アドミSSION・ポリシー

森林科学科では、森林に対して興味や探究心を持ち積極的に学ぼうとする人、基礎的な知識や技能を有し、論理的な思考力や判断力を持って主体的に問題を解決できる人、社会の一員として地域貢献や国際社会で活躍する意欲を持っている人、そういった学生を求めています。

【入学前に身につけているべき知識および能力等】

- 1 高等学校等で修得する諸教科(国語、数学、理科、英語、地理歴史・公民)についての十分な基礎学力
- 2 森林科学の基礎的な学問体系となる数学および理科に関する分析力、理解力
- 3 長文の読解力、論理的思考力、自分の考えを的確に伝えることができる表現力、他人と相互理解できるコミュニケーション能力
- 4 自然や科学に対する興味と探究心、森林に関する諸問題を積極的に学ぼうとする意欲

- 5 自然を慈しみ、自ら問題点を発掘し、物事を論理的に考え、広く社会の状況を把握できる能力
- 6 森林関係分野における産業の発展、地域貢献、さらに国際的視野に立った活躍を目指す意欲

【入学者選抜の方針】

森林科学科では、こうした能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストおよび個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜を実施します。

● 一般選抜（前期日程）

高等学校等までに履修する全ての教科のうち、大学入学共通テストにより、国語、数学、理科、英語、地理歴史・公民における基礎学力を評価します。併せて、個別学力検査により、数学、理科に関する学力と論理的思考力、主体性等を評価し、入学者を選抜します。

● 一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストにおいて、国語、数学、理科、英語、地理歴史・公民を課すことにより基礎的な学力評価を行い、入学者を選抜します。

● 学校推薦型選抜

高等学校等までの基礎的な知識・技能の習得と思考力・判断力および主体性・協働性について、グループディスカッション、テーマ作文、推薦書、調査書、志望理由書、面接により評価し、入学者を選抜します。

〔環境デザイン学科〕

環境デザイン学科は、豊かな生活環境の実現を目的として、住居・建築学、インテリア・生活デザインについて教育研究を行うことにより、広い教養と総合的な判断力を持ち、人と環境に優しい生活環境と生活様式の創造ができる人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

環境デザイン学は、住居・建築学を基盤としつつ、循環型社会、ランドスケープ、インテリアなどを包摂する幅広い専門領域にわたります。そのため、環境デザイン学科では、人と環境にとって望ましい住居、建築、都市、地域、暮らしのデザインについて、生活者の視点から科学的に追求し、総合化し、提案する意欲ある人を求めています。

【入学前に身につけているべき知識および能力等】

- 1 高等学校等で修得する諸教科（国語、数学、理科、英語、地理歴史・公民など）についての十分な基礎学力
- 2 緻密な論理的思考力と判断力、社会に対する洞察力
- 3 デザインや造形に対する強い関心と、それを表現し提案することへの熱意
- 4 生活環境がもつさまざまな側面を、技術的・文化的・社会的に把握するとともに、それが生み出されていくプロセスを理解し、実際にすぐれたモノや空間を構築したりデザインしたりするための基礎的素養と意欲

【入学者選抜の方針】

環境デザイン学科では、こうした能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストおよび個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜を実施します。

● 一般選抜（前期日程）

上記1に関する高い基礎学力を、大学入学共通テストおよび個別学力検査により評価し、入学者を選抜します。

● 学校推薦型選抜

上記1、2および4については総合問題・推薦書・調査書で、上記2、3に関する高い能力については志望理由書と面接により評価し、入学者を選抜します。

令和8年度京都府立大学学校推薦型選抜学生募集要項

1 募集人員

学 部	学 科	募集人員（人）		
		府 内	全 国	合 計
文 学 部	日本・中国文化学科	6	3	9
	国際文化交流学科	9	4	13
	歴史学科	8	5	13
	小 計	23	12	35
社会科学部	公共政策学科	10	5	15
	福祉社会学科	10	5	15
	小 計	20	10	30
農学食科学部	農学生命科学科	*8	*7	15
	栄養科学科	5	5	10
	和食文化科学科	6	4	10
	小 計	19	16	35
生命理工情報学部	生命化学科	5	4	9
	理工情報学科	5	3	8
	小 計	10	7	17
環境科学部	森林科学科	*6	5	11
	環境デザイン学科	13（8）		13
	小 計	24		24
合 計		141		141

（注1） 文学部、社会科学部、農学食科学部、生命理工情報学部及び環境科学部森林科学科の「全国」には「府内」の出願者を含む。

（注2） 環境科学部環境デザイン学科の募集人員（ ）は、学科募集人員のうち「府内」優先の人数である。

（注3） 農学食科学部栄養科学科及び環境科学部環境デザイン学科では、合計点が著しく低い者については募集人員に満たない場合でも不合格にすることがある。

（注4） *は、農学生命科学科と森林科学科それぞれの特別枠1を含む。特別枠では、合計点が著しく低い者については募集人員に満たない場合でも不合格にすることがある。

2 日 程

出願期間	令和7年11月1日（土）～ 11月10日（月）午後5時まで *ただし、期限後到着した場合は、11月9日（日）までの消印のある書留速達郵便に限り受け付けます。
試験実施日	令和7年11月29日（土）
合格発表日	栄養科学科を除く各学科 令和7年12月11日（木）正午
	栄養科学科 令和8年2月10日（火）正午
入学手続日	栄養科学科を除く各学科 令和7年12月25日（木）
	栄養科学科 令和8年2月18日（水）

3 出願資格

京都府立大学の学校推薦型選抜に出願できる者は、次の(1)～(4)のいずれかに該当し、出身学校長の推薦がある者、かつ、合格した場合に本学への入学を確約できる者に限ります。

(1) 府 内（次のいずれかに該当する者）

- ① 京都府内の高等学校を令和8年3月に卒業見込の者又は大学入学資格が付与されている京都府内の専修学校高等課程の学科を令和8年3月修了見込の者
- ② 高等学校を令和8年3月に卒業見込の者又は大学入学資格が付与されている専修学校高等課程の学科を令和8年3月修了見込の者で、入学の1年前（令和7年4月1日）から引き続き本人又は保護者（親権者）が京都府内に居住している者（住民票で証明できることが必要）

(2) 全 国

高等学校を令和8年3月に卒業見込の者又は大学入学資格が付与されている専修学校高等課程の学科を令和8年3月修了見込の者

(3) 特別枠

農業・食品分野（農学生命科学科）、森林・環境分野（森林科学科）の専門教育に関する高等学校（学科）を令和8年3月に卒業見込の者であって、各専門分野をさらに発展させたいという成績優秀でチャレンジ精神を持つもの

農学食科学部農学生命科学科の府内枠・全国枠 各1名

環境科学部森林科学科の府内枠 1名

(4) その他上記と同等の条件を有すると本学が認めた者

この場合、本学との事前協議が必要 ※事前協議期間 令和7年9月1日(月)～10月6日(月)

4 選抜方法

学 部	学 科	選抜方法
文 学 部	日 本 ・ 中 国 文 化 学 科	推薦書、調査書、志望理由書及び小論文（日本語及び英語の文章や資料による出題に基づき、理解力、思考力、表現力、読解力等を問う。）の成績による総合判定
	国 際 文 化 交 流 学 科	推薦書、調査書、志望理由書及び小論文（英語の文章や資料による出題に基づき、理解力、思考力、表現力、読解力等を問う。）の成績による総合判定
	歴 史 学 科	推薦書、調査書、志望理由書、総合問題（英語の文章や資料による出題に基づき、読解力を中心に、理解力、思考力、表現力等を問う。）、小論文（日本語の文章や資料による出題に基づき、理解力、思考力、表現力、読解力等を問う。）の成績による総合判定
社会科学部	公 共 政 策 学 科	推薦書、調査書、志望理由書及び小論文の成績による総合判定
	福 祉 社 会 学 科	
農学食科学部	農 学 生 命 科 学 科	推薦書、調査書、志望理由書、面接及び総合問題（当該学科の学生として求められる知識、理解力、思考力を問う。）の成績による総合判定
	栄 養 科 学 科	大学入学共通テストの成績、推薦書、調査書、志望理由書、面接及び小論文の成績による総合判定
	和 食 文 化 科 学 科	推薦書、調査書、志望理由書及び小論文（日本語及び英語の文章や資料による出題に基づき、理解力、思考力、表現力、読解力等を問う。）の成績による総合判定
生命理工情報学部	生 命 化 学 科	推薦書、調査書、志望理由書、面接及び総合問題（当該学科の学生として求められる知識、理解力、思考力を問う。）の成績による総合判定
	理 工 情 報 学 科	推薦書、調査書、テーマ作文（出願時に提出）及び面接の成績による総合判定
環境科学部	森 林 科 学 科	推薦書、調査書、志望理由書、テーマ作文（出願時に提出）、面接及びグループディスカッションの成績による総合判定
	環 境 デ ザ イン 学 科	推薦書、調査書、志望理由書、面接及び総合問題（当該学科の学生として求められる基礎学力、知識、読解力及び思考力を問う。）の成績による総合判定

※ 各学科が指定する選抜方法の科目（小論文、面接等を含む）を1科目でも受験していない場合、失格となります。

5 推薦条件

学部	学科	学部学科ごとの推薦条件	一つの高校が推薦できる人員
文学部	日本・中国 文化学科	成績優秀な者 ただし、外国語 12 単位以上を修得している者	全日制、定時制及び通信制の 課程から各 3 名以内
	国際文化交流学科		全日制、定時制及び通信制の 課程から各 3 名以内
	歴史学科		全日制、定時制及び通信制の 課程から各 3 名以内
社会科学部	公共政策学科	成績優秀な者 ただし、外国語 12 単位以上を修得している者 ※教科・科目の読替協議を要する（注1）	全日制、定時制及び通信制の 課程から各 2 名以内
	福祉社会学科		全日制、定時制及び通信制の 課程から各 2 名以内
農学食科学部	農学生命科学科	成績優秀な者	全日制の課程から 2 名以内、定 時制及び通信制の課程から各 1 名
	栄養科学科	成績優秀な者 ただし、理科 12 単位以上を修得している者	全日制、定時制及び通信制の 課程から各 2 名以内
	和食文化科学科	成績優秀な者	全日制、定時制及び通信制の 課程から各 2 名以内
生命理工情報学部	生命化学科	成績優秀な者で、『化学基礎・化学』を履修している者	全日制の課程から 2 名以内、 定時制及び通信制の課程から 各 1 名
	理工情報学科	成績優秀な者又は次の資格検定のいずれかに合格している者で、 かつ、数学と理科については以下の条件を満たす者 〈検定試験〉 ・公益財団法人日本英語検定協会主催実用英語技能検定試験 2 級以上 ・経済産業省主催基本情報技術者試験 〈数学と理科についての条件〉 ・普通科の生徒については、『数学Ⅲ』、理科 12 単位以上を修得 していること。 ・情報科学科の生徒については、数学は『数学Ⅲ』関連科目を修 得していること。理科は理科関連科目（本来の理科学科の他に情 報関連科目なども含める）を12単位以上修得していること。 ・工業科等の生徒については、数学は数学関連科目（本来の数学 科目の他に、応用的な数学を主たる内容とした科目も含める）を 13 単位以上修得していること。理科は理科関連科目（本来の理科 科目の他に、応用的な理科を主たる内容とした科目も含める）を 12 単位以上修得していること。 ＜理科関連科目、数学関連科目、『数学Ⅲ』関連科目の認定は理工 情報学科が行う。＞ ※教科・科目の読替協議を要する（注1）	全日制、定時制及び通信制の課程 から各 2 名以内
環境科学部	森林科学科	成績優秀な者	全日制の課程から 2 名以内、定時 制及び通信制の課程から各 1 名
	環境デザイン 学 科	成績優秀な者	全日制、定時制及び通信制の課程 から各 2 名以内。 ただし、建築科については、上記の 他に、高等学校建築科の入学定員 が 40 名以内の場合は各課程から 各 1 名、40 名を越える場合は全日 制の課程から 2 名以内、定時制の 課程から 1 名の推薦を認める。

（注1） 公共政策学科、福祉社会学科及び理工情報学科については、高校で履修している教科・科目名と平成30年告示学習指導要領に記載の教科・科目名が異なる場合は、「読替協議」が必要です。教科・科目の読替えが可能な場合は、令和7年10月6日（月）までに本学と事前協議してください。
ただし、既に教科・科目の読替えが協議済みで、かつ、履修条件に変更がない場合は、推薦書に事前協議が承認済みである旨記載することにより、事前協議は不要です。

（注2） 修得単位数については、修得見込みの単位数を含みます。

6 身体等に障害のある入学志願者との事前相談について

(1) 事前相談等

本学では、身体等に障害（学校教育法施行令第22条の3に定める程度、その他これに準じるもの）のある入学志願者の受験時及び入学後の修学する上で必要な支援内容を検討するため、事前相談等の措置を設けています。

このため、入学を志願する者で、身体等に障害があり受験及び修学上特別の配慮を必要とする者は、下記(2)の相談期日までに、あらかじめ学校長を通じ本学に連絡の上、事前相談を行ってください。

なお、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面接を行います。

(2) 相談期日

令和7年10月6日（月）まで

7 出願手続

(1) 出願期間

インターネット 出願登録期間	令和7年10月25日（土）9時～11月10日（月） <u>正午(12時)</u>
出願書類の 郵送受付期間	令和7年11月1日（土）～11月10日（月）午後5時まで 【 <u>必着。ただし、期限後到着した場合は、11月9日（日）までの消印のある書留速達郵便に限り受け付けます。</u> 】

出願手続は、下記①、②、③の順番で①～③まで全てを行うことで手続が完了します。

①インターネット出願サイトへの情報登録

②入学考査料等の支払い

③出身学校長から出願書類を郵送（上記郵送受付期間内に必着）

志願者は、インターネット出願サイトで①、②を行った後、出願書類を出身学校長に提出してください。

出身学校長は、志願者の出願書類を取りまとめ、郵送受付期間内に到着するように書留速達で郵送してください。期限後到着した場合は、11月9日（日）までの消印のある書留速達郵便に限り、受け付けます。なお、やむを得ない場合は、最終日に限り、持参することも可能です。

(2) 出願登録前に準備するもの

パソコン等の 動作環境	インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等が必要です。 自宅にパソコン等がない場合は、学校等のパソコン等から出願してください。
印刷環境	出願手続の画面から郵送が必要な書類をPDFファイルで出力（A4サイズで印刷）するためのプリンタが必要です。自宅にプリンタがない場合は、学校等のプリンタから印刷してください。カラー印刷を原則としますが、困難な場合は、モノクロ印刷でも可とします。
メール受信 環境	出願登録時に受信可能なメールアドレスが必要です。メール受信設定でドメインの設定を行っている場合は、「@sak-sak.net」を受信可能なドメインとして設定してください。
写真データ	出願登録時に証明写真（顔写真）データ（JPEG形式）が必要です。 （出願前3か月以内に撮影、カラー、本人のみ、正面、上半身、無帽、無地の背景、縦横比 4:3（縦横比はアップロード時に変更できます））
出願書類	P.17 に記載の「(5)出願書類」を参照の上、提出期間内に間に合うようあらかじめ用意してください。
封筒	出願書類提出用に、市販の角形2号封筒（横 24cm×縦 33.2cm）を用意してください。

(3) インターネット出願の流れ

① 出願サイトにアクセス

本学ホームページ <https://www.kpu.ac.jp/> からインターネット出願サイトにアクセスしてください。
(本学ホームページトップ → 入試情報 → インターネット出願)

② インターネット出願登録

インターネット出願サイトの「利用案内」、「出願手続」、「Q&A」等を必ず確認のうえ、画面に従って必要情報を入力してください。

※ 出願登録完了後に登録内容の変更はできませんので、最終確認画面で登録内容に誤りがないか十分に確認してください。

※ 志願者情報入力後、アンケート画面が表示されますので、回答にご協力ください。なお、本アンケートで収集した情報は、本学の広報活動等に利用する目的において個人が特定されないよう統計的に処理し使用するものであり、合否判定には一切関係ありません。

③ 入学考査料等の支払い

インターネット出願サイトの案内に従って、入学考査料等をお支払いください。

支払い方法は、「(4)入学考査料等の支払方法」を参照してください。

④ 出願書類の印刷

出願サイトから「出願確認票」(大学提出用・本人控)、「写真票」、「受験票」、「封筒用ラベル」を印刷してください。

⑤ 出身学校長に出願書類を提出

封筒(角形2号)に④で印刷した封筒用ラベルを貼り付けてください。P.17「(5)出願書類」に記載の書類をこの封筒に封入し、出身学校長に提出してください。

⑥ 出願書類の郵送

出身学校長は、各志願者が作成・提出する⑤の封筒を取りまとめ、別の封筒に一括して封入し、本学 Web サイト(<https://www.kpu.ac.jp/admissions/exam/guide/recommendation/>)からダウンロードして印刷した郵送用ラベル(高等学校用)を貼り付けて**書留速達**で送付してください。

(4) 入学考査料等の支払方法

出願書類の受付期間内(令和7年 11 月 10 日(月)午後5時まで)に出願書類が大学に到着するよう考慮の上、入学考査料等をお支払いください。必要な料金は以下のとおりです。

・入学考査料：	17,000円	
・支払手数料：	451円	
・受験票郵送料：	460円	合計 17,911円

支払方法は、クレジットカード・コンビニエンスストア・ATM(ペイジー)・ネットバンキングが利用可能です。詳しい支払方法については、出願登録をする際に、インターネット出願サイト内の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法	取扱機関等	備考
クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMEX、DINERS	支払方法は一括払のみです。
コンビニエンスストア	セブンイレブン、ミニストップ、ファミリーマート、ローソン、セイコーマート	支払方法は現金のみです。 ※選択した支払方法の受付番号等をメモにとり、コンビニエンスストアで支払手続を行ってください。
Pay-easy(ペイジー)	Pay-easy(ペイジー)が利用可能な金融機関	金融機関で Pay-easy マークの付いているATMで支払うことができます。 ※選択した支払方法の受付番号等をメモにとり、金融機関ATMで支払手続を行ってください。
ネットバンキング	ペイジー対応の都市銀行、地方銀行、信用金庫、PayPay 銀行、楽天銀行、住信 SBI ネット銀行 等	ご利用にはネットバンキングの利用契約が必要です。

入学考査料等の支払い確認後、出願サイトから出願に必要な書類を印刷できるようになります。
クレジットカード以外でお支払いの場合は、支払確認に2～3時間程度かかる可能性があります。
支払確認がとれないと出願書類の印刷ができませんので、時間に余裕をもって出願登録をしてください。

(5) 出願書類

出願登録、入学考査料等の支払い後、以下の出願書類を下記「封筒用ラベル」を貼り付けた角形2号封筒に封入し、出身学校長へ提出してください。出身学校長は、P.16(3)⑥「出願書類の郵送」のとおり書類を郵送してください。

本学所定の用紙は、本学ホームページ(<https://www.kpu.ac.jp/admissions/exam/guide/recommendation/>)よりダウンロードが可能です。それぞれ A4用紙1枚以内で作成してください。

出願書類等	注 意 事 項
出願確認票 (大学提出用)	インターネット出願登録、入学考査料等の支払い後、インターネット出願サイトから、A4用紙に印刷してください。 ※出願確認票に記載されている「出願受付番号」は受験番号ではありません。
写真票	インターネット出願サイトから、A4用紙に印刷してください。 写真データがアップロードされているかご確認ください。
受験票	インターネット出願サイトから、A4用紙に印刷してください。 写真データがアップロードされているかご確認ください。
推薦書	本学所定の用紙を使用し、出身学校長が作成し厳封したもの。
調査書	文部科学省所定の様式により、出願日前3か月以内に出身学校長が作成し厳封したもの。
志望理由書	本人が志望動機及び自己PRを本学所定の用紙に 600 字程度にまとめたもの。 ※理工情報学科を除く ※農学食科学部農学生命科学科・栄養科学科、環境科学部森林科学科については、志望理由書裏面の「大会成績・受賞実績」も記載してください。
テーマ作文 (理工情報学科・森林科学科のみ)	[理工情報学科] テーマ：学科ホームページ(https://sites.google.com/view/sci-tech-info/)に提示された課題図書をよく読んで、理解した上で要約し、これに関連して、あなたの考えやあなたが思い描く未来について書いてください。 ※本学所定の用紙に横書きで、学校名、氏名、課題図書タイトル、作文タイトル、を記載し、 <u>10 枚以内</u> で、 <u>自筆</u> で書いてください。 [森林科学科] テーマ：わたしの考える持続可能な社会における科学 ※本学所定の用紙、または市販の A4 サイズ <u>横書き用</u> 400 字原稿用紙に、横書きで、学校名、氏名を記載し、それらを除いて <u>1,200 字以内</u> で、 <u>自筆</u> で書いてください。
検定試験の 証明書類 (理工情報学科の 該当者のみ)	理工情報学科志願者のうち指定の検定試験の合格者のみ必要 P.14 に記載の推薦条件を証明する合格証明書(原本を提出)
本人又は保護者 (親権者)の 住 民 票	「3 出願資格」(1) ② (P.12 記載) により府内枠で出願する者のみ必要 ※府内高等学校等在学者(「3 出願資格」(1)①)及び全国枠出願者は不要 ※志願者本人又は保護者(親権者)について、令和7年4月1日以前から引き続き京都府内に住所を有することを市町村長が証明した住民票 ※役所の窓口で必ず「住民となった年月日の記載が必要」と伝えてください。 ※証明日が出願前3か月以内のものを提出することが必要です。 ※保護者のみが要件に該当する場合で、かつ、住民票で志願者本人との続柄が証明できない場合は、別途志願者本人の住民票等の提出が必要となりますので、学務課入試係に問い合わせてください。
封筒用ラベル	インターネット出願サイトからA4用紙に印刷(カラー推奨)の上、角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼り付けて使用してください。

(6) 出願におけるその他の注意事項

ア 国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を問わず)へ出願することができるのは一つの大学・学部に限られています。なお、本学の学校推薦型選抜内での併願はできません。

イ 学校推薦型選抜出願者は、本学を含む国公立大学の一般選抜(前期日程・後期日程・公立大学中期日程)にも出願することができます。

ウ 必要な書類が全てそろっていない場合は、受理できない場合があります。

エ 出願書類受付後は、志望学科の変更はできません。また、提出書類の返却はいたしません。

オ 出願書類受付後は、次の場合を除き、入学考査料はお返ししません。

(ア) 入学考査料を誤って二重に払い込んだ場合

(イ) 入学考査料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合

カ 入学願書受付完了後、11月17日頃に受験票を発送します。試験日の5日前までに受験票が届かない場合は、学務課入試係(TEL:075-703-5144)にお問合せください。

受験票送付時点で郵便物の受領可能な住所を出願サイトに入力してください。

(7) 出願に関する問い合わせ先

(入試に関する問い合わせ・提出先)

〒606-8522

京都市左京区下鴨半木町1-5

京都府立大学 学務課 入試係 TEL:075-703-5144

受付時間: 平日 9:00~17:00 (土日祝・年末年始を除く)

(インターネット出願サイトの操作方法・入学考査料支払方法に関する問い合わせ)

京都府立大学インターネット出願サポートセンター

電話番号: インターネット出願サイトでお知らせします。

受付期間: 令和7年10月25日(土)~11月10日(月)

受付時間: 9:00~17:00 (11月10日(月)は 正午まで)

8 大学入学共通テスト成績開示請求チケットの提出(栄養科学科出願者のみ)

(1) 提出期限

大学入学共通テスト 成績請求チケットの提出期限	令和7年12月19日(金)
----------------------------	---------------

(2) 提出方法

ア 栄養科学科の志願者は、令和7年12月10日(水)午前10時以降、大学入学共通テスト出願サイトのマイページ上にある「成績請求チケット」を選択し、画面の指示に従い、国公立推薦型選抜用成績請求チケットを発行してください。

イ 発行された成績請求チケットをダウンロード・印刷し、以下の方法により直接大学に郵送してください。

提出書類等	注 意 事 項
大学入学共通テスト 成績請求チケット提出用	インターネット出願サイトから、A4用紙に印刷して、「令和8年度大学共通テスト成績請求チケット(国公立推薦型選抜用)」を貼付してください。
封筒用ラベル	インターネット出願サイトからA4用紙に印刷(カラー推奨)の上、角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼り付けて使用してください。

9 試験会場

京都府立大学 京都市左京区下鴨半木町1-5 (P.24 試験場案内図参照)

※試験会場の下見は可能ですが、建物内(試験室)には入室できません。

10 試験日時及び試験科目

(1) 試験日

令和7年11月29日(土)

(2) 試験時間及び試験科目

学部	学科	科目	試験時間
文学部	日本・中国文化学科	小論文①(英語の文章・資料に基づく出題)	10:00～11:00 (60分)
		小論文②(日本語の文章・資料に基づく出題)	13:00～15:00 (120分)
	国際文化交流学科	小論文(英語の文章・資料に基づく出題)	10:00～12:00 (120分)
	歴史学科	総合問題(英語の文章・資料に基づく出題)	10:00～11:30 (90分)
		小論文(日本語の文章・資料に基づく出題)	13:00～14:30 (90分)
社会科学部	公共政策学科	小論文	10:00～12:30 (150分)
	福祉社会学科		
農学食科学部	農学生命科学科	総合問題	10:00～12:00 (120分)
		面接	13:30～
	栄養科学科	小論文	10:00～12:00 (120分)
		面接	13:30～
	和食文化科学科	小論文	10:00～12:00 (120分)
生命理工情報学部	生命化学科	総合問題	10:00～12:00 (120分)
		面接	13:30～
	理工情報学科	面接	10:00～ *
環境科学部	森林科学科	グループディスカッション	10:00～12:00
		面接	13:30～
	環境デザイン学科	総合問題	10:00～12:00 (120分)
		面接	13:30～

* 詳細は、受験票送付時にお知らせします。

11 大学入学共通テスト(栄養科学科出願者のみ)

農学食科学部栄養科学科の出願者は、大学入学共通テストの以下の教科・科目を受験してください。1科目でも受験しなかった場合は選抜の対象としませんので、十分注意をしてください。

学部	学科	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目等	
			教科	科目名等
農学食科学部	栄養科学科	学校推薦型選抜試験	国語	「国語」
			地歴・公民	「歴史総合、世界史探究」、「歴史総合、日本史探究」、「地理総合、地理探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合／歴史総合／公共」(※1)から1科目選択
			数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」の2科目
			理科	「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択
			外国語	「英語(リスニングを含む)」
			情報	「情報Ⅰ」
				≪6教科8科目≫

●大学入学共通テストの注意事項

- ① (※1)の「地理総合／歴史総合／公共」は3つの出題範囲から2つを選択解答すること。
- ② 「地歴・公民」を2科目受験した場合で、本学学科が1科目のみを課している場合は、第1解答科目の得点を採用します。なお、第1解答科目で本学が指定していない科目を受験した場合には、第2解答科目で本学が指定する科目を受験していても、本学への出願資格がないものとなります。

12 配点

学部	学科	学校推薦型選抜																			
		大学入学共通テスト									選抜方法										合計
		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語(英語)		情報	計	推薦書	志望理由書	調査書	小論文①	小論文②	面接	総合問題	テーマ作文	グループディスカッション	計	
							リーディング	リスニング													
文学部	日本・中国文化学科									0	20			100	250	－	－	－	－	370	370
	国際文化交流学科									0	20		30	250	－	－	－	－	－	300	300
	歴史学科									0	15		15	100	－	－	100	－	－	230	230
社会科学部	公共政策学科									0	20			180	－	－	－	－	－	200	200
	福祉社会学科									0	20			180	－	－	－	－	－	200	200
農学食科学部	農学生命科学科									0	面接の参考			－	－	30	70	－	－	100	100
	栄養科学科	200	*100	*100	200	200	160	40	100	1,000	面接の参考	40		200	－	160	－	－	－	400	1,400
	和食文化科学科									0	10		10	100	－	－	－	－	－	120	120
生命理工情報学部	生命化学科									0	*(40)		10	－	－	*(40)	100	－	－	150	150
	理工情報学科									0	10	－	10	－	－	40	－	40	－	100	100
環境科学部	森林科学科									0	10		10	－	－	20	－	20	40	100	100
	環境デザイン学科									0	面接の参考			－	－	100	200	－	－	300	300

(注1) 栄養科学科の*印は選択による配点

(注2) 生命化学科の*(40)は推薦書、志望理由書及び面接を合わせて40点

13 受験についての注意事項

(1) 試験当日の注意事項

- ア 試験当日は、試験開始時間の 30 分前までに試験室に集合してください。遅刻は、試験開始後 30 分以内であれば、入室を認めます(30 分経過後は入室不可)。
- イ 試験時間中に机上に置けるものは、「受験票」「黒の鉛筆又はシャープペンシル(筆記機能のみ)」「鉛筆削り(電動式を除く)」「消しゴム」「鉛筆キャップ」「時計(辞書、電卓、端末等の機能のあるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・大型のものは不可)」「眼鏡」「ハンカチ」「ティッシュペーパー(袋又は箱から取り出したもの)」「目薬」です。健康上その他やむを得ない理由により、上記以外のものを使用したい場合は、監督者の指示に従ってください。
- ウ 時計は、アラーム設定を解除してください。
- エ 携帯電話・スマートフォン等の電子機器類は、アラーム設定を解除し、電源を切っておいてください。
- オ 試験場構内への二輪車(自転車・バイク)、自動車等の車両の乗り入れはできません。

(2) 不正行為について

ア 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、それ以後の受験はできません。また、既に受験したすべての科目の成績も無効となります。

- 1 カンニング(試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。)をすること。
- 2 使用の認められたもの以外の用具を使用して問題を解くこと。
- 3 「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めること。
- 4 受験票及び写真票に本人以外の写真を貼ること。
- 5 本人に代わって受験し、又は、受験させること。
- 6 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- 7 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類を使用すること。
- 8 「解答やめ。鉛筆を置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。

イ 上記ア以外に次のことをすると不正行為になることがあります。指示に従わず、不正行為となった場合の取扱いは、アと同様です。

- 1 試験時間中に、使用の認められたもの以外の用具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- 2 試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など。)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- 3 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申し出をすること。
- 4 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- 5 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- 6 その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

14 その他学校推薦型選抜の注意事項

- (1) 本選抜の合格者は、特別な事情がない限り入学を辞退することはできません。
- (2) やむを得ない特別な事情により本学に入学することが困難になった場合には、入学手続日までに学校長を通じて「学校推薦型選抜における入学辞退届」(任意様式)を提出し、本学の承認を受けてください。
- (3) 合格者は、上記(2)により入学辞退を認められた場合を除き、本学及び他の国公立大学の個別学力検査(一般選抜)を受験しても合格者とはなりません。
- (4) 本学が指定する期日までに入学手続が完了しない者は、合格者としての権利を失います。
なお、この場合でも、本学および他の国公立大学の個別学力検査(一般選抜)を受験しても合格者とはなりません。
- (5) 本学に入学手続をした者は、それ以後、これを辞退して他の国公立大学や本学の他学部等に入学手続をすることはできません。また、他の国公立大学に入学手続をした者は、それを辞退して本学に入学手続をすることはできません。
- (6) 本選抜により入学した者については、転学部及び転学科を原則として認めません。
- (7) 大学入学共通テストに出願した者は、実際の受験の有無に関わらず、入学手続時に大学入学共通テスト受験票が必要となりますので大切に保管しておいてください。

15 悪天候・災害時等の試験実施について

悪天候や災害等で入学試験の実施に支障が生じるおそれがある場合は、試験時刻の繰り下げ等の措置内容を、試験当日、試験開始時刻1時間前に本学ホームページ(<https://www.kpu.ac.jp/>)に掲載します(予定どおり実施の場合は、特に掲載しません。)

16 合格発表

- ・栄養科学科を除く各学科 令和7年12月11日(木) 正午
- ・栄養科学科 令和8年2月10日(火) 正午

- (1) 合格発表は、本学のホームページ(<https://www.kpu.ac.jp/>)に掲載するとともに、合格者には、合格通知書を学校長に郵送します。
なお、電話その他による問い合わせには一切応じられません。
- (2) 試験当日に、試験場周辺や最寄駅等で合否電報の勧誘があっても、本学とは一切関係ありませんので、十分ご注意ください。

17 入学手続

合格者には、合格発表後、合格通知書と併せて入学手続に必要な書類を学校長あてに発送しますので、次により入学手続を行ってください。

- (1) 入学手続日
 - ・栄養科学科を除く各学科 令和7年12月25日(木) 午前10時から午後3時まで
 - ・栄養科学科 令和8年2月18日(水) 午前9時30分から正午まで※入学手続後は、特別の理由がある場合を除き、入学料はお返ししません。

(2) 学費等納付金（入学料・授業料等） ※金額は改定される場合があります。

種 類		金 額	備 考
入学料	京都府内額適用者	169,200 円	入学手続までに、所定の振込用紙にて振り込んでください。
	上記以外の者	282,000 円	
授業料	前 期	267,900 円	入学後、口座引き落としにより、前期(5月。次年度以降は4月)と後期(10月)の2回の分納となります。
	後 期	267,900 円	
	計	535,800 円	
学生教育研究災害傷害保険料		4,660 円	入学手続までに、所定の振込用紙にて振り込んでください。

(注) 京都府内額適用者とは、令和7年4月1日以前から引き続き京都府内に生活の本拠を置き、現に居住しており、住民票で証明可能な者をいう。

18 試験成績の開示について

令和8年度学校推薦型選抜の成績の開示については、令和7年12月上旬に本学ホームページ(<https://www.kpu.ac.jp/>)に掲載します。

19 個人情報の取扱い

- (1) 学校推薦型選抜を通じて取得した氏名、住所、その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、試験実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- (2) 学校推薦型選抜の試験成績は、今後の入学試験方法の検討のために利用します。
- (3) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、受験番号、大学入学共通テスト受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センターに送付します。
- (4) 学校推薦型選抜を通じて取得した個人情報は、入学者のみ、①教務関係(学籍管理、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

20 受験生氏名の表記について

令和8年度入学者選抜より、氏名表記は JIS 第一水準および第二水準のみとします。

出願の際には、JIS 第二水準までの文字を使用してください。

外字については、JIS 第一水準および第二水準の範囲内の常用漢字へ置き換えるとともに、置き換えができない場合は、全角カタカナ表記としてください。

置き換え例:「高 ⇒ 高」「崎 ⇒ 崎」「濱 ⇒ 濱、浜」「吉 ⇒ 吉」など

なお、この表記は学生証、受験時から在学中及び卒業後に交付する各種証明書や書類等に記載するすべての氏名を対象とします。(※学位記に関しては、希望があれば戸籍に準じる表記を受け付けますが、外字によっては対応できない場合があります。)

試験場案内

■入学試験会場
■所在地
■交通機関

京都府立大学

京都市左京区下鴨半木町 1—5

①② J R 京都駅・
阪急烏丸駅から

地下鉄烏丸線 「北山」 駅下車 1 番出口から南へ徒歩 10 分

③ 京阪出町柳駅から

市バス 1 系統「府立大学前」下車 北へ徒歩 5 分

京都バス 32、34、35 系統「府立大学前」下車 北へ徒歩 5 分

④ J R 二条駅から

市バス 206 系統「府立大学前」下車 北へ徒歩 5 分

地下鉄東西線「烏丸御池」駅下車乗換、烏丸線「北山」駅下車 1 番出口から南へ徒歩 10 分

(注意)
・試験会場内への二輪車(自転車・バイク)、自動車等の車両の乗り入れはできません。
・昼食は各自持参してください(生協食堂は営業していません)。



樣 式 類

受験番号 ¹	
-------------------	--

推 薦 書

令和 年 月 日

京都府立大学長 様

学 校 名

学 校 長 名

印

記載責任者名

印

下記の者は、本校在学中の成績が優秀であり、貴学の志望学科の学校推薦型選抜推薦条件を満たしておりますので、責任をもって推薦いたします。

記

高等学校等の 科名、コース名			令和8年3月	☐ 卒業見込 ☐ 修了見込
フリガナ		生年月日	年 月 日生	
氏 名				
志望学部・学科	学部	学科		
推 薦 区 分 ²	☐ 特別			
履修科目の読替承認日 ³	令和 年 月 日 京府大第 号			
4 推 薦 理 由				

(裏面に続く)

〈記入上の注意事項〉

- 1 受験番号欄は記入しないでください。
- 2 農学食科学部農学生命科学科及び環境科学部森林科学科の志願者で、出願資格の「特別枠」で推薦する場合は、□に✓印を記入してください。
- 3 推薦要件の指定教科科目の事前読替協議をした場合は、読替承認書の日付と文書番号を記載してください。読替が不要の場合は、記載する必要はありません。
- 4 推薦理由は、志望学部・学科で学ぶ能力があると認められた理由を、志望学部・学科のアドミッション・ポリシーに照らして「学力的資質」及び「人物」の観点から記載してください。全体を通して、「意欲がある」「真面目である」などといった抽象的な概評ではなく、勉学に対する意欲や姿勢、授業中の活動状況、得意な教科、成績順位、資格等の具体的な事実に基づいて志望学部・学科への適性を記載してください。
- 5 各欄のサイズは変更しても構いませんが、ページ数を増やすことはできません。

(裏面)

大会名	主催者名	受賞年月日	成績、受賞名	関連サイト (https://)など

※数学、理科、情報または英語の4教科に関係する全国水準以上の大会における個人の受賞実績がある場合は記入してください。また、賞状などの写し(志願者本人の受賞を証明するもの)を添付してください。

※高等学校の部活動など、団体参加による受賞は原則対象外です。ただし、団体としての参加であっても個人対象の受賞が証明できるものは記載して構いません。例:英語の弁論大会など

※欄や枠のスペースが不足する場合は別紙を添付しても構いません。

(テーマ作文用紙：理工情報学科用)

志望学科	理工情報学科
学 校 名	
氏 名	

課題図書タイトル	
作文タイトル	

[illegible]

(テーマ作文用紙：森林科学科用)

志望学科	森林科学科
学 校 名	
氏 名	

[illegible]

入試に関する問い合わせ先

住 所 〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1 - 5
担 当 課 京都府立大学 学務課 入試係
電話番号 075 - 703 - 5144 (直通)